

NT-08 アクセシビリティセミナー2012  
日本における電話リレーサービスの現状と  
JIS X 8341-4改正について

情報通信アクセス協議会

## 本プログラムの流れ

---

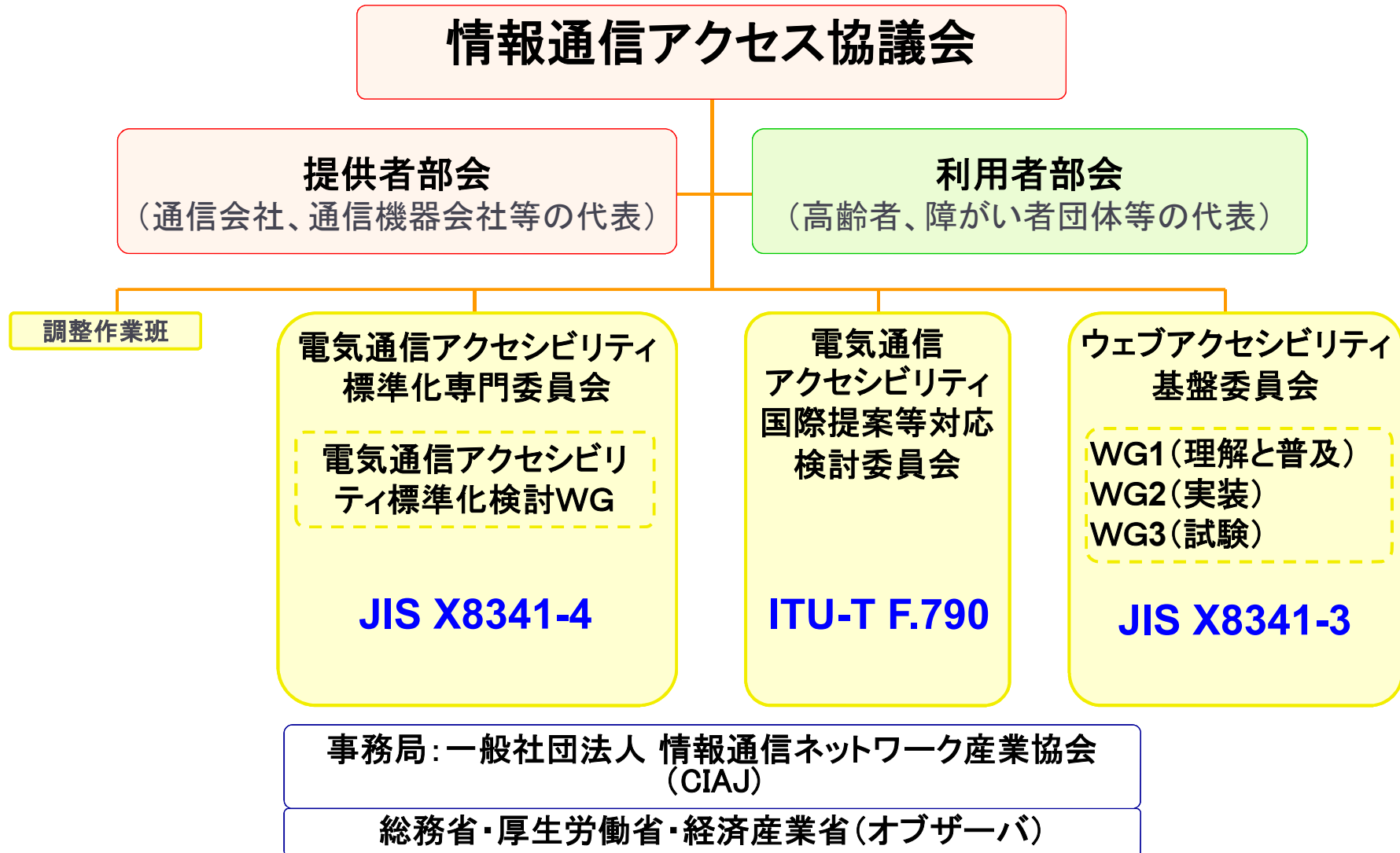
- ▶ 情報通信アクセス協議会の紹介
- ▶ JIS X 8341-4改正概要と今後の展開について
  - ▶ 水島 昌英 (NTT研究所)
- ▶ 電話リレーサービスの概要及び国際的な動向と国内での課題
  - ▶ 井上 正之 (筑波技大)
- ▶ 代理電話サービスの現状と課題
  - ▶ 三浦 宏之 (プラスヴォイス )
- ▶ ANA専用代理電話サービスについて
  - ▶ 井上 一子 (全日空 )

## 「情報通信アクセス協議会」とは

---

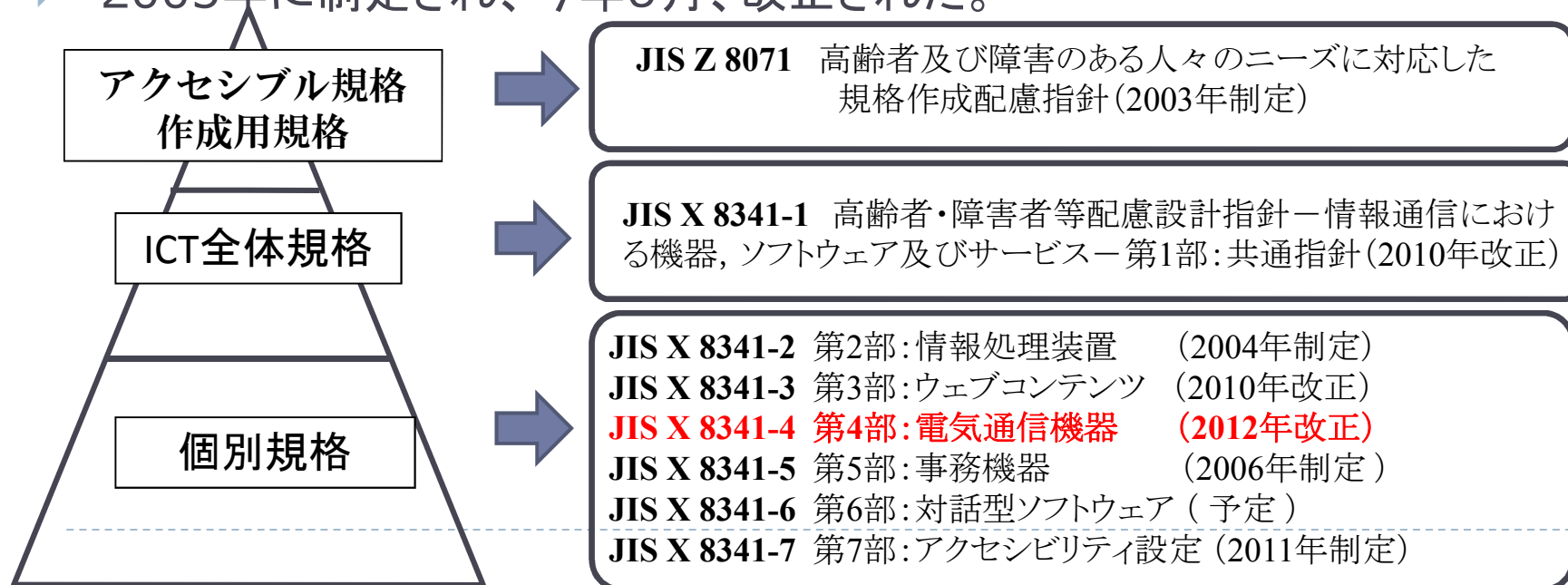
- ▶ 1998年11月発足
- ▶ 高齢者や障がい者が情報通信機器やサービスを円滑に利用できるような社会を目指し、
- ▶ 提供者の団体、利用者の団体および学識経験者が意見を出しあい、アクセシビリティ指針などを検討・提案・推進中
- ▶ 現在の主な活動
  - ▶ 電気通信アクセシビリティ指針(JIS X8341-4、ITU-T F.790)の提案、普及の促進
  - ▶ ウェブアクセシビリティ指針(JIS X8341-3)の理解と普及の促進

# 組織構成の概要



# JIS X8341シリーズ及び第4部について

- **JIS X8341シリーズ**: 高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器, ソフトウェア及びサービス—
  - ▶ 情報通信分野のアクセシビリティを確保・向上させるために、配慮すべき要件がまとめられた規格
  - ▶ **JIS X8341-4**: 「電気通信機器」に関する個別規格
    - ▶ 固定電話機、携帯電話機、(家庭用)ファクシミリ、テレビ電話等を対象
    - ▶ 2005年に制定され、今年9月、改正された。



# 改正の概要

---

主な改正目的  
国際規格 ITU-T\*1 F.790\*2との整合性をとること

- ▶ 要件の内容自体はほぼ変更なし
  - ▶ ITU-T F.790に合わせて要求レベル(必須、推奨)を一部変更
  - ▶ 省略主語の明示
- ▶ 「電気通信サービス」に係る指針を参考として附属書に追加

\*1 国際電気通信連合の部門の一つで、通信分野の標準策定を担当する「電気通信標準化部門」

\*2 「Telecommunications accessibility guidelines for older persons and persons with disabilities」。日本よりJIS X8341-4:2005を元にITU-Tに提案、2007年に勧告化

# 電気通信サービスに関する指針

---

- ▶ **双方向電気通信サービス**
  - ▶ リアルタイム性（音声だけでなく、文字や動画でも）
  - ▶ マルチメディア性（音声と文字等）
  - ▶ メディア変換（音声⇔文字等）
  - ▶ 本セミナーのメインテーマ
- ▶ **電気通信プラットフォームサービス**
  - ▶ クラウド型サービスのアクセシビリティ（音声合成、音声認識の提供等）
- ▶ **緊急通信**
  - ▶ 110番、119番等のアクセシビリティ
  - ▶ 災害時の安否確認のアクセシビリティ

## 今後の展開

---

- ▶ 電気通信機器はパーソナル性が強く、求められるアクセシビリティも多様なため、ある機器が、どのようなアクセシビリティに配慮されているのかの情報提供も重要
- ▶ アクセシビリティ配慮チェックリストの公開を検討中